

平成30年2月23日

あきる野市議会議長 殿

会 派 名 自由民主党志清会

代表者氏名 堀 江 武 史

会派の(調査研究) 報告書

このことについて、下記のとおり実施したので報告します。

記

1 調査研究または研修実施日	平成30年 1 月 25 日(木) ~ 平成30年 1 月 26 日(金) 1泊 2日
2 調査研究または研修の場所	①1月25日(木) 栃木県宇都宮市 ②1月25日(木) 栃木県那須郡那珂川町 ③1月26日(金) 埼玉県飯能市芦荻場
3 調査研究事項または研修名	1月25日(木)宇都宮市：ジャズとカクテルの街づくりについて 1月25日(木)那珂川町：那珂川まち旧武茂小学校廃校教室を 活用したトラフグ養殖事業 1月26日(金)飯能市芦荻場：西川材の木工製品作りで障害者の 就労及び社会生活支援について
4 参加者氏名 (9 名)	堀江武史 子籠敏人 天野正昭 中嶋博幸 村野栄一 ひはら省吾 中村一広 臼井 健 窪島成一
5 調査研究または研修の概要 及び感想等	別紙のとおり



自家用車・レンタカー使用報告書

政務活動のため自家用車・レンタカーを使用しましたので、次のとおり報告します。

(党派名) 自由民主党志清会									
年 度	平成29年度	調査研究・研修名		ジャズとカクテルの街づくりについて、温泉トラフグ養殖・販売について、おぶすま福祉会視察					
所有者又はリース会社名	(有)岡野自動車	車名(車種)		ハイエースワゴン(軽自動車・普通車・中型・その他)					
使用日	運転者	主 な 経 路		乗車IC	下車IC	有料道路 使用料金	走 行 キロ数	所要時間	備 考
1月25日	堀江武史	市役所→圏央道→東北道		日の出	鹿沼	3,790 円	123.4	90分	
1月26日	日原省吾	東北道→圏央道		鹿沼	狭山日高	3,160 円	103.9	70分	
1月26日	日原省吾	圏央道		狭山日高	日の出	780 円	19.5	15分	
合 計						7,730 円	246.8	175分	
				駐車場使用料金の有・無及び金額等				有・無(1回:計 600円)	

注 意 事 項

- 1 有料道路使用料金、現地での駐車場使用料金のみが対象となります。ガソリン代、レンタカー代は認めておりません。
- 2 調査研究報告書の提出の際に、必ず、領収書を添付してください。なお、ETCを利用した場合は、料金の確認ができる明細書等を添付してください。
- 3 走行キロ数は、自家用車又はレンタカーの走行キロメーターから算出してください。1キロ未満は切り捨てで記載してください。

※ETCを利用した場合の有料道路使用料が当該年度の政務活動費で支出できるのは、利用料金明細書に記載の口座振替日(口座引落日)が、当該会計年度末の3月31日までのものとなるため、翌年度の4月1日以降に口座振替日となっているものは支出できませんので、注意してください。

平成29年度（7月～平成30年3月）政務活動費領収書

調査研究費（H30.1.25～1.26）

ご利用ありがとうございます。



料金所では一旦停車してください。

ご利用ありがとうございます。



料金所では一旦停車してください。

ご利用ありがとうございます。



料金所では一旦停車してください。

領 収 書

料金所 鹿沼
NEXCO東日本お客さまセンター
0570-024-024
または
03-5338-7524
18年 1月25日 9時07分
車種 普通
通行料金 ￥3,790-
(現金)

～入口料金所～ 日の出
高速道路上で停止車両を見聞きした際は、
停止車両や人に注意しながら安全走行を！
東日本高速道路株式会社
東京都千代田区霞が関3-3-2
取扱番号207-00070712-00

領 収 書

料金所 狭山日高
NEXCO東日本お客さまセンター
0570-024-024
または
03-5338-7524
18年 1月26日 9時37分
車種 普通
通行料金 ￥3,160-
(現金)

～入口料金所～ 鹿沼
高速道路上で停止車両を見聞きした際は、
停止車両や人に注意しながら安全走行を！
東日本高速道路株式会社
東京都千代田区霞が関3-3-2
取扱番号208-00250800-00

領 収 書

料金所 日の出
NEXCO東日本お客さまセンター
0570-024-024
または
03-5338-7524
18年 1月26日 13時40分
車種 普通
通行料金 ￥780-
(現金)

～入口料金所～ 狭山日高
高速道路上で停止車両を見聞きした際は、
停止車両や人に注意しながら安全走行を！
東日本高速道路株式会社
東京都千代田区霞が関3-3-2
取扱番号211-00041327-00

領 収 証

志清会 様 30年 / 月 25日

★ ￥600-

但 駐車料

上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額

消費税額等(%)

コクヨ ウケ-1048

〒320-0034 宇都宮市米町1-22

ホテル 丸 治

TEL (028) 621-2211
FAX (028) 621-6021

●宇都宮市「ジャズとカクテルのまちづくり」について

〈研修日時〉平成 30 年 1 月 25 日 (木) 10:00~11:40

〈目 的〉ジャズを中心として活用した、市街地の活性化や観光誘客のまちづくりを学ぶ

1 事業内容

宇都宮市は、平成 19 年 3 月、上河内町、河内町と合併し、北関東初の 50 万人都市となり、現在の人口は約 52 万人になっている。宇都宮の都市圏人口は約 110 万人で、中核都市圏では、国内最大を誇る。人口減少なども現在のところ現状維持し、屋台横丁の開設、ジャズ、カクテル、餃子など、地域特性溢れる食と文化の魅力あるまちづくりに取り組んでいる。

近年注目されている宇都宮市のジャズとカクテルのまちづくりについては、世界的に有名なジャズミュージシャンである渡辺貞夫氏が、宇都宮市ゆかりの人物であることを契機に、ジャズを宇都宮市の貴重な文化資源と捉え、ジャズを中心とした軽音楽文化の振興を図り、ジャズを活用した中心市街地の活性化や観光誘客を促進し、「ジャズのまち宇都宮」を創出することを目的としている。

また、第 5 次宇都宮総合計画(後期)に、市民の学ぶ意欲と豊かな心を育むために、個性ある文化資源の活用として「ジャズのまちづくり」推進事業の実施が位置付けられている。



※参考

宇都宮市ゆかりの人物としては、渡辺貞夫氏の他に、平成 28 年 12 月 16 日に文化庁長官表彰を受けた内田晃一氏(現ジャズワールド編集長、ウィグラフォン奏者)、平成 30 年 1 月 15 日に文部科学大臣表彰を受けた、デキシードジャズの第一人者である外山喜雄氏(日本レイ・アームストロング協会会長、トランペット奏者)などがある。

2 取り組み

- ・平成 13 年度 宇都宮ジャズのまち委員会が設立された。月 1 回～2 回打ち合わせを行っている。
- ・平成 14 年度 宇都宮ジャズのまち委員会ホームページが開設された。
宇都宮市民ジャズオーケストラが結成された。
- ・平成 18 年度 宇都宮ジュニアジャズオーケストラが結成された。
- ・平成 26 年度 渡辺が貞夫氏栃木県名誉県民に選出された。



3 事業概要

(1)事業主体 宇都宮ジャズのまち委員会

(2)設 立 平成 13 年 8 月

(3)委 員 12 人

(4)補 助 金 1,444 千円／年

(5)事業内容

①ジャズ教育普及事業

ア)ジャズ教育事業 ふれあい文化教室、ふれあいジャズセミナー等

イ)渡辺貞夫顕彰事業 ジャズのまち宇都宮展等

ウ)団体育成支援事業 学校ジャズ普及事業、子どもたちの音楽団体育成支援事業等

エ)ジャズのまちPR事業 ジャズのまち HP の運用、イベントリーフレット作成、議場ジャズコンサート開催協力(6 月議会初日)等

②ジャズライブ育成事業

ミヤ・サンセットジャズ、宮ふれあいステーションジャズ、ミヤビッグジャズ等

4 関連事業

(1)宇都宮市市民芸術祭軽音楽祭 ミヤ・ストリートギグ

事業主体 宇都宮市民芸術祭実行委員会軽音楽部会（事務局：市文化課）

内 容 ジャズ、ロック、太鼓、ダンスなどの幅広いジャンルからなるイベント

実 績 平成 13 年より毎年 2 日間開催

(平成 28 年度) 出演団体 168 団体、来場者 48,000 人

(2)ミヤ・ジャズイン

事業主体 ミヤ・ジャズ推進協議会（事務局：宇都宮商工会議所）

内 容 ミヤ・ジャズを活用した集客交流イベント

実 績 1974年から毎年開催されている歴史あるジャズイベント

餃子祭りと同日開催（2日間）

（平成28年度）出演団体58団体、来場者140,000人等

5 課題等

(1)子どもたちへのジャズ普及推進

学校生活の中で小中学生がジャズに親しむことができるよう、給食や清掃の時間など、各場面に場面にあったジャズのラインナップを用意し、学校にジャズが選択しやすい環境を提供する。

(2)指導者・教師の充実

指導者育成の取り組みが必要。

(3)宇都宮餃子だけでないジャズのまち宇都宮としての認知度向上

平成29年度よりジャズのまち委員会の事務局を一翼を担う、観光交流課と充分連携を図りながら、観光誘客や街づくりの視点から、効果的に事業を推進する。

〈考 察〉

宇都宮市においては、ジャズミュージシャンである渡辺貞夫氏が、宇都宮市ゆかりの人物であることを契機に、ジャズを中心とした軽音楽事業の推進に取り組んでいる。

あきる野市においても、各地域ごとの歴史もあり、伝統文化の行事なども各地域において実施されている。さらには、あきる野市の特性を生かした食や文化などで魅力あふれる街づくりを考え、専門性の高いリーダーの発掘なども併せて行っていくことも必要であると考え。



宇都宮市役所議場にて

●栃木県那須郡那珂町「温泉トラフグ養殖・販売 株式会社夢創造」について

〈研修日時〉平成30年1月25日（木） 14:00～16:00

〈目 的〉那珂川町旧武茂小学校廃校教室を活用したトラフグ養殖事業から、地域の特性を生かした事業を学ぶ

株式会社環境生物化学研究所野口勝明社長は、温泉の分析を通して山間地でのトラフグ養殖という新事業（株式会社夢創造）を生み出した。昭和31年（1956年）栃木県那珂川町生まれ。昭和59年株式会社環境生物化学研究所を設立し、代表取締役就任。また、平成22年株式会社夢創造を設立し、代表取締役社長に就任。平成28年10月町おこし会社創生なかがわ株式会社を設立し、代表取締役社長に就任した。



実家に建てたプレハブの分析室

野口勝明社長は、那珂川町の出身。高校を卒業して理学部化学科で学んだ。大学を卒業後、東京都内の建設コンサルタント会社に就職し、環境アセスメントの業務に携わる。各種の開発行為に当たって、様々な環境への影響調査を行う仕事だ。ここで

4年間の経験を積んだ後、家庭の事情から故郷に戻ることになった。

地元で就職先を探したが、キャリアが活かせる職場はなかなか見つからない。ならば、ということで自ら会社を立ち上げることにした。それが株式会社環境生物科学研究所だ。27歳の時であった。自分の専門分野である環境コンサルタントを主要な業務に位置付け、各種の分析やアセスメント調査を行う会社とした。

実家の敷地内に建てたプレハブ1棟が社屋だった。「設備さえあれば、さほど場所は問わないのがこの仕事に利点です。とにかく、3年間はがんばろうと思いました。」と創業当時の事を説明された。



町の新名物となった「温泉トラフグ」

こうした地道な分析の仕事が異業種の新事業を生む。きっかけは栃木県内90カ所の温泉水の成分分析だった。

調査した中に、塩分を含む源泉が24カ所あり、地元的那珂川町内に、特に安全性の高いものがあることが判明したのだ。「塩分を含んでいるのだから、これで海の魚が養殖できないかと思ったのです。特に高級魚のトラフグを飼おうと考えました。」

これが今の「温泉トラフグ」につながる発想だった。

現在の海水の塩分濃度は約3.5%あるが、生物が誕生したころは0.9%程度だったとされる。これを引き継いだ地球上の生物は、体内の塩分濃度が同程度であることが最適であるという。進化の過程で、海水魚も淡水魚も、自らの体内で濃度を調整して取り込む機能を身に付けるが、本来は太古の時代の海水濃度が望ましいとされる。温泉水はまさにこれに近似するものだった。

当初、100匹のトラフグの稚魚を購入して、ちょっと変わった実験が始まった。温泉水、温泉水と同程度の濃度の人工海水、海水と同じ濃度の塩水の3種類の水槽を設けて、成長にどのような差が出るかを観察したのだ。署長室に置いたたらいでフグを飼うという、やや珍妙な光景が出現することになった。温泉水で飼育したフグは成長が早く、1年後には700グラムになって、立派に育つことが証明された。

しかし、問題は味。関係者を集めて試食会を開催し、アンケートを行ったところ、「柔らかすぎる」「味が薄い」などの意見が相次ぎ、そのまま商品化するには難点が多いことが分かった。そこで、こうした分野での研究が行われている東京大学農学部生命科学研究所の金子豊二教授の協力を仰ぎ、「味上げ」の技術開発に挑戦。濃度の薄い温泉水で飼育したものを現在の海水濃度と同じ3.5%の塩水に入れると、約12時間後にアミノ酸濃度が上がり、ぐっとおいしくなることが分かった。

平成21年夏に行われた2回目の試食会には、行政関係者、料理飲食関係者ら100人以上が集まり、味にも太鼓判が出た。これによって本格的な実用化への道が開け、山間地でのトラフグ養殖という話題性がマスコミにも取り上げられ、大きな話題を呼ぶことになった。

こうした実験を踏まえ、平成22年10月、「温泉トラフグ」の養殖を主要業務とする株式会社夢創造を設立し、徐々に生産設備を拡充しながら、現在は2万5千匹を飼育し、毎月500～700キロを出荷するまでになった。那珂川町内の名物として定着したのをはじめ、県内外の飲食店での料理提供も増えている。

〈考 察〉

那珂川町は閉校校舎や閉鎖した温泉プールを利用したフグの養殖に取り組み、成果を出し、全国からも注目されている。あきる野市においても、あきる野市の観光事業の充実や、特産品の優れた商品を、あきる野ブランドとし、認定、販売の推進を図ることが必要である。また、視野を広く持ち、多方面からの考えを取り入れることも必要と考える。



●社会福祉法人おぶすま福祉会 飯能事業所運営について

〈研修日時〉平成 30 年 1 月 26 日（金） 10：00～12：00

〈目 的〉埼玉県飯能市芦荻場の西川材の木工製品作りで、障害のある人などに、就労の機会を提供するとともに、生産活動などを通して、就労及び社会生活支援について学ぶ

施設概要

平成 9 年 4 月から飯能市で障害者支援施設を運営している。法制度のもと施設形態は移行し、現在は就労継続支援 B 型施設「飯能事業所」（現契約人数 30 名）となっている。

身体、知的、精神、その他内部疾患の障害者手帳を所持している方を対象とし、就労に必要な作業支援、生活支援を行っている。作業内容は地場産である西川材を使用した看板、積み木、雛人形などオリジナル木工製品製作が中心である。平成 25 年、ブランド家具「OBUSUMA」（テーブル、チェア、ワゴン、シェルフ、スツール）を発表し、その後開発した周辺小物と共に順調に製作・販売を行っている。

障害特性も程度も様々であり年齢の幅も大きいですが、それぞれが得意とする部分を担当し、一つの製品を完成させている。そしてその過程を通し就労及び社会生活に必要な姿勢を身に付けている。

手帳所持

療育手帳		身体障害者手帳	
㊤	6	1 級	1
A	1 0	3 級	1
B	1 1	5 級	(1)
C	1		

※（ ）は療育手帳との重複

手帳は所持していないが重複障害あり

知的・精神	4
知的・身体・精神	1
知的・身体	3
知的・精神・内部疾患	1

障害支援区分

6	2
5	5
4	6
3	5
2	0
1	0
無	1 2



基本姿勢

障害者手帳の判定が就労能力とは直結しない、とする考え方で取り組んでいる。重度の判定であっても、その潜在能力引き出す支援を心掛け、就労を意識した取り組みを行うことを基本としている。2～3年に一人程企業へ就職している。また、「自己表現」はより良い社会生活を送る上で必要不可欠な部分と捉え支援を強化している。言語化されない感情は時にはパニック症状として出現し、「ノー」を伝えられず行動する事は誤解を受ける結果となったりもする。様々な制度も自分の「意思決定」により利用していくことで、充実した人生設計ができるものとする。



おぶすま家具の誕生

社会福祉法人おぶすま福祉会飯能事業所責任者の坂本氏は、昨年4月に施設長から業務執行理事に就任される。この事業所は、以前は、デイサービスの施設として障害のある方々の居場所づくりでスタートした。当初は、内職が多く、業者が施設に持ってきてくれるボールペンや、箱の組み立てをみんなで行っていたが、一般の内職の仕

事が多く、利用者のモチベーションもあがらない状況がみられていた。ある時、利用者(50 歳位)の方が、一人部屋で夜中まで仕事をしている。坂本氏が「体をこわすから、明日やればいいよ」と話すと、「明日、納期だから、今夜終わらせないと、次の仕事がもらえなくなる。」と話した。その言葉を聞き、何とも言えない気持ちになったとの事。障害者にもできる仕事は何かないかと考え、自分たちでやろうということになり、「じゃあ、西川材を使ってやろう。」ということで始まった。何ができるか、雑貨屋などに行きいろいろと考えた。最初に事業所で行ったのは、木の下処理の仕事。だが、採算が取れない。次には、積み木や、箸作りをした。また、障害者の特性を生かし、大きな家具を作ることを考え、プロの木工屋さん、デザイナーの方をお願いし取り組むこととなる。同時に、家具職人であった現施設長の竹村氏におぶすま福祉会に来てもらい、その指導のもと、おぶすま家具を造るようになった。

〈考 察〉

施設責任者が、『個々の障害者の特性などを把握しながら、その潜在能力を引き出す支援』を心掛けていることで、利用者の満足度は高いと感じた。

障害者一人ひとりの自立を目指すということが大切であり、あきる野市内施設においても一人でも多くの方の自立を支援できるような取り組みができることを願う。

